

クラウド型台帳システム

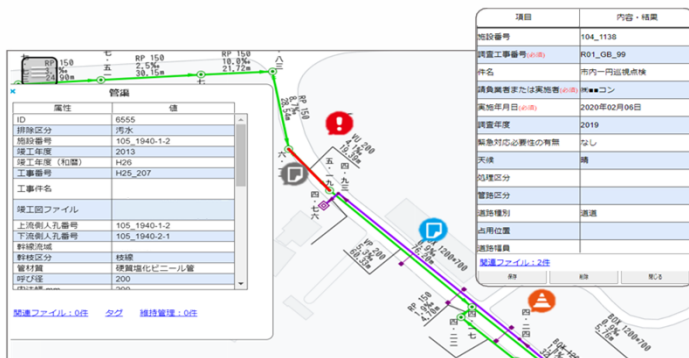
(管路台帳、雨水管理、公開型台帳、設備台帳、PI)

クラウド型台帳システム『Blitzシリーズ』は持続可能な上下水道事業運営を行うため、事業者のDXを促し、住民サービスの向上と、災害時の迅速な復旧作業を支援します。

『Blitz GIS』ブリッツ ジーアイエス 上下水道管路台帳システム

上下水道の管路管理を行えるクラウド型の**管路台帳システム**です。

- 維持管理情報や災害時の情報を現場で記録・閲覧でき、他事業埋設物や道路占用の情報等も管理できます。
- 包括委託での複数の業者が利用する**広域的な活用**、BCP訓練で活用いただいた事例もあります。



Google Maps (許諾番号 Z15DL第1243号)

図1 Blitz GIS画面

- パソコンやタブレット、スマートフォンで利用可能です。
- インターネット地図感覚で、技術職や事務職を問わず使えます。
⇒マニュアル要らずのシンプルなシステム。
⇒気になることは付箋紙感覚でメモ登録（写真や動画）。
- 面倒な管理負担、システム管理も必要ありません。
⇒地図はGoogle マップや地理院地図で、自動で最新版に更新。
⇒航空写真もストリートビューも利用可能。
⇒サーバは大規模災害時も継続運用可能。セキュリティも万全。
- 施設データの更新も安心です。
⇒基盤となる施設情報は日水コンが責任をもって更新可能。

『Blitz FLOOD』ブリッツ フラッド リアルタイム浸水予測システム

Blitz GISのオプション機能として利用できる**浸水対策支援サービス**です。

- 浸水被害情報や浸水予測情報を**リアルタイム**に収集・閲覧できます。
- 降雨情報や水位計の観測情報より、AIを活用した**水位予測**や**浸水シミュレーション**（オンラインで30分後から60分後の水位や浸水状況を表示可能）を行うことができます。
- 水害情報（浸水被害等）をSNSの投稿内容から収集・閲覧できます。
- 職員招集基準、本部での大型モニター投影に活用いただいています。

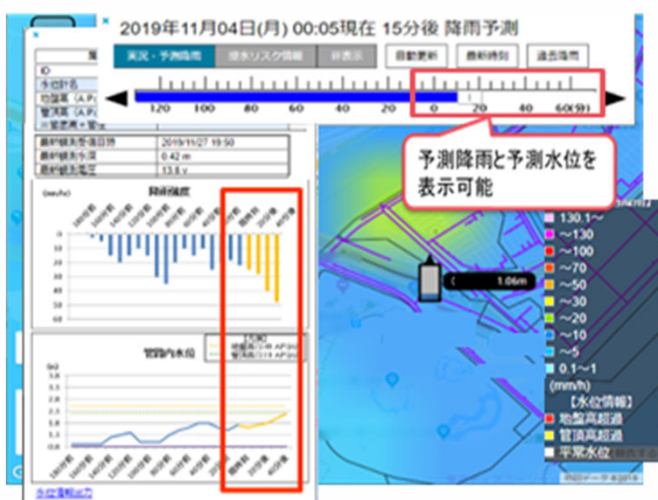


図2 Blitz FLOOD画面

基本機能

- ①降雨情報連携機能
 - ・高解像度降水ナウキャストの表示
 - ・基準雨量超過時にメール通知
- ②IoT連携機能
 - ・オンライン水位計の表示
 - ・基準水位超過時のメール通知
- ③SNS連携機能
 - ・6種類のSNS投稿情報の連携
 - ・SNS投稿情報のメール通知
- ④衛星画像連携機能
 - ・過去の衛星画像の表示
 - ・過去の衛星解析結果の表示

応用機能

- ⑤浸水シミュレーション機能
 - ・観測情報で浸水シミュレーション
 - ・リアルタイムに面的水位予測
- ⑥AI浸水予測機能
 - ・水位計設置箇所のAI水位予測
- ⑦他用途での活用
 - ・ポンプ稼働情報連携
 - ・監視カメラ連携

『Blitz Connect』ブリッツ コネクト公開型台帳システム
管路情報、水位情報等をインターネットで公開するシステムも用意しています。

クラウド型台帳システム

(管路台帳、雨水管理、公開型台帳、設備台帳、PI)

『Blitz GROW』ブリッツ グロウ 上下水道施設設備台帳システム

上下水道の設備管理を行えるクラウド型の設備台帳システムです。

- 資産情報を一元管理でき、蓄積情報を活用することで、アセットマネジメント、ストックマネジメントの効率的支援をします。
- 工事・設備の台帳や図面等を素早く取り出せるため、非常時の災害対応等も支援します。
- 庁舎や処理場のパソコン端末での利用に留まらず、タブレット等のモバイル端末を現場に持っていくことで同じ機能を「いつでも」「どこでも」利用できます。
- 「下水道長寿命化支援制度」に基づいた診断や健全度等の技術要素に関する情報管理にも対応しています。

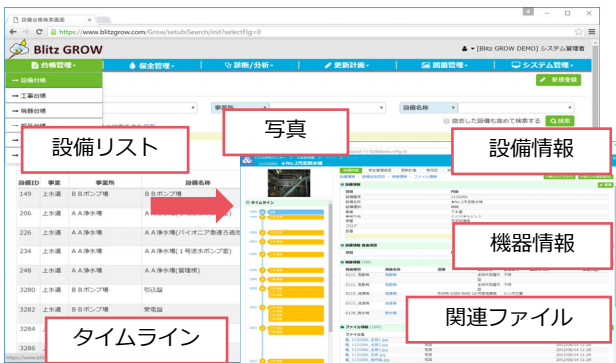


図3 Blitz GROW画面

点検を簡単に！

- ・タブレット一つで様々な点検表を管理
- ・撮影した写真をアップロードして迅速に異常を共有
- ・過去の点検データをクラウド上で蓄積・管理



点検アプリを活用した作業風景

『Blitz PI』ブリッツ ピーアイ PI管理システム

Blitz GROWと連携して利用できる指標 (PI) 管理システムです。

- プロセスの監視を行い、成果の可視化を支援します。
- 運転管理では、事業体ごとに運転データや水質試験結果等をPIとして設定し、蓄積することができます。
- PIを組み合わせることにより、新たなPI (複合PI) を作成することもできます。
- 保安全管理では、Blitz GROWと連携することで保安全管理データを使用して、信頼性・可用性といったPIを算出します。
- PIをグラフ化することにより、数値の変動や相関性を可視化し、事業体・運転維持管理者間の円滑な議論・状況把握を促します。

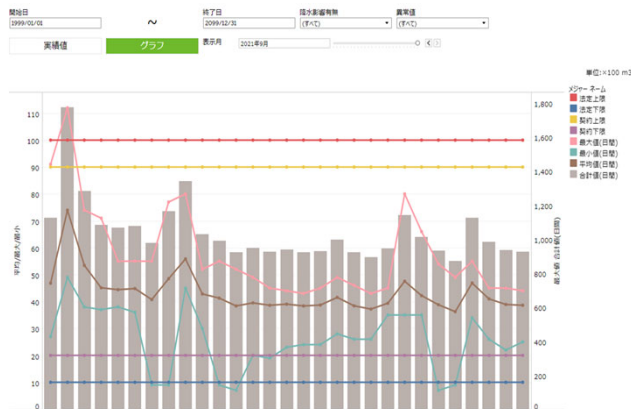


図4 Blitz PI画面

データを有効活用！

- ・過去のデータを蓄積可能
- ・Blitz GROWで行った保安全管理データを活用
- ・クラウドシステムにより複数の人とリアルタイムに共有